

CASBEE™ 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	WAKATOビル	階数	地上6F、地下1F
建設地	京都府京都市南区西九条北ノ内町	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2009年12月 予定	評価の実施日	2008年12月9日
敷地面積	714 m ²	作成者	松岡
建築面積	571 m ²	確認日	2008年12月9日
延床面積	3,356 m ²	確認者	浜田



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.9

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 環境都市のモデル都市		その他 0
Q1 室内環境 遮音壁による防音対策、ダブルスキンによる熱負荷制御、個別パッケージエアコンによるゾーン別制御、ブラインド+ダブルスキンによるスクリーンによるグレア対策、初期照度1000ルクス以上の明るい執務空間	Q2 サービス性能 学校レベルのバリアフリー計画、天井高2.7m以上、自販機コーナーの設置、ダブルスキンに整合した内装計画、維持管理性の高い材料、収まり設計、維持管理機能の高い施設計画、整形な執務空間	Q3 室外環境(敷地内) 京都駅前のシンボル景観、ピロティによる屋外空間の連続、屋上庭園
LR1 エネルギー ダブルスキンシステム、太陽光パネルの採用	LR2 資源・マテリアル 擬音装置、リサイクル可能な緑化ユニット、有害物質を含まないビニルタイル用接着剤	LR3 敷地外環境 オール電化、駐輪場、駐車場の設置

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される